様式第８号（第５条関係）

令和8年4月14日

滋賀県議会議長　様

氏　名　　白井幸則

令和７年度政務活動費に係る収支報告について

滋賀県政務活動費の交付に関する条例第10条第１項に基づき、別紙のとおり令和　７年度政務活動費収支報告書を提出します。

別紙

令和　7年度政務活動費収支報告書

氏　名　　白井幸則

1 収　入

政務活動費　2,401,188　円　(利息 1,188　円含む)

2 支　出

(単位：円)

経　費	支出額	備　考
調査研究費	円	
研修費	円	
広聴広報費	927,976円	
要請陳情等活動費	円	
会議費	円	
資料作成費	円	
資料購入費	円	
事務所費	661,980円	
事務費	円	
人件費	1,015,300円	
合　計	2,605,256円	

3 残　余

0　円

（参考様式４）

会計帳簿

収入内訳	
交付金計	2,400,000 円
利　息	1,188 円
合　計	2,401,188 円

支出内訳	
調査研究費	0 円
研修費	0 円
広聴広報費	927,976 円
要請陳情等活動費	0 円
会議費	0 円
資料作成費	0 円
資料購入費	0 円
事務所費	661,980 円
事務費	0 円
人件費	1,015,300 円
合　計	2,605,256 円

残　余	0 円

（別紙）

支出内訳書

経　費	調査研究費・研修費 (広聴広報費) 要請陳情等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務所費・事務費・人件費

整理番号	支出年月日	支出金額	摘要
k-494	R7. 4. 10	299,420円	県政報告⑳令和7年3月30日発行
k-553	R7. 9. 24	162,460円	県政報告㉑令和7年8月17日発行
k-603	R8. 2. 6	153,499円	県政報告㉒令和8年1月18日発行
k-621	R8. 3. 27	294,767円	県政報告㉓令和8年3月29日発行
k-622	R8. 3. 27	27,830円	県政レポート㉓（裏面制作費）
計		927,976円	

(注) 1　支出内訳書は、経費の種類ごとに作成してください。
2　経費ごとの合計額と収支報告書の当該使途項目の支出額と一致するようにして下さい。
3　整理番号の欄は、領収書等の添付様式(参考様式1)の整理番号と同じ番号として下さい。
4　証拠書類が「支払証明書」(参考様式2)の支出にあたっては、整理番号欄は「－」としてください。
5　支出金額欄で、按分等により領収書等の額面の金額と政務活動費充当額が異なる場合は、政務活動費充当額を記入してください。

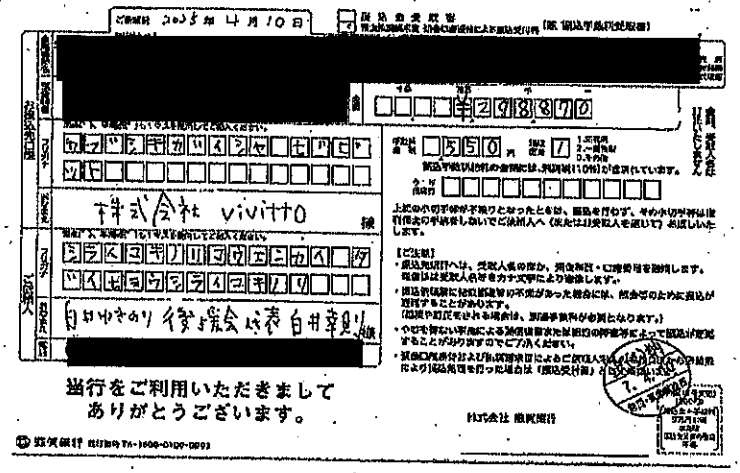
（参考様式１）

領収書等の添付様式

使途項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請陳情等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務所費・事務費・人件費
整理番号	k-494

領収書その他の証拠書類の添付欄

k-494



事業名、使途および内容等

◆広報誌の発行㉖　発行日令和7年3月30日　発行部数　23,750部
支払日令和7年4月10日　支払額　299,420円（振込手数料550円を含む）

按分による支出の場合の記載事項	按分の率	1/1
政務活動費として支出する額		299,420 円

（注）1　領収書等は、この様式に添付してください。
2　政務活動に伴う経費とそれ以外の活動に伴う経費との按分が必要な場合は、「按分による支出の場合の記載事項」の欄に、按分の率を記載してください。
3　添付した領収書等の金額のうち、政務活動費として支出する額を記載してください。

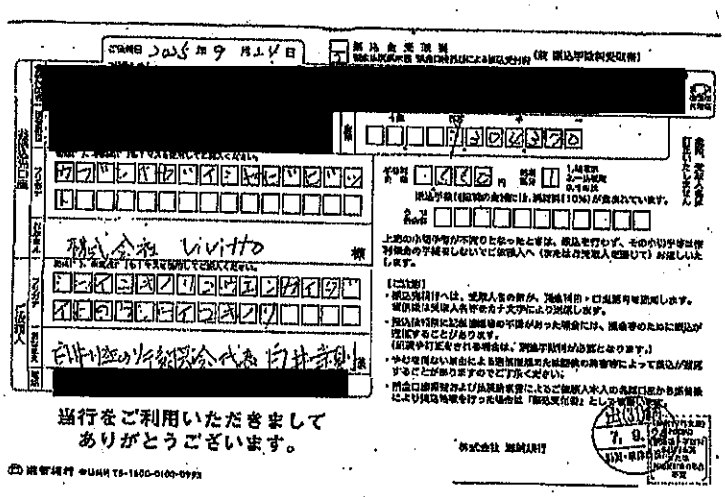
（参考様式１）

領収書等の添付様式

使途項目	調査研究費・研修費・広報広報費・要請陳情等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務所費・事務費・人件費
整理番号	k-553

領収書その他の証拠書類の添付欄

k-553



当行をご利用いただきまして
ありがとうございます。

事業名、使途および内容等

◆広報誌の発行㉑　発行日令和7年8月17日　発行部数　23,750部
支払日令和7年9月24日　支払額　304,920円（振込手数料550円を含む）　按分により152,460円を支出

按分による支出の場合の記載事項	按分の率	1/2
政務活動費として支出する額	152,460 円	

（注）1　領収書等は、この様式に添付してください。
2　政務活動に伴う経費とそれ以外の活動に伴う経費との按分が必要な場合は、「按分による支出の場合の記載事項」の欄に、按分の率を記載してください。
3　添付した領収書等の金額のうち、政務活動費として支出する額を記載してください。

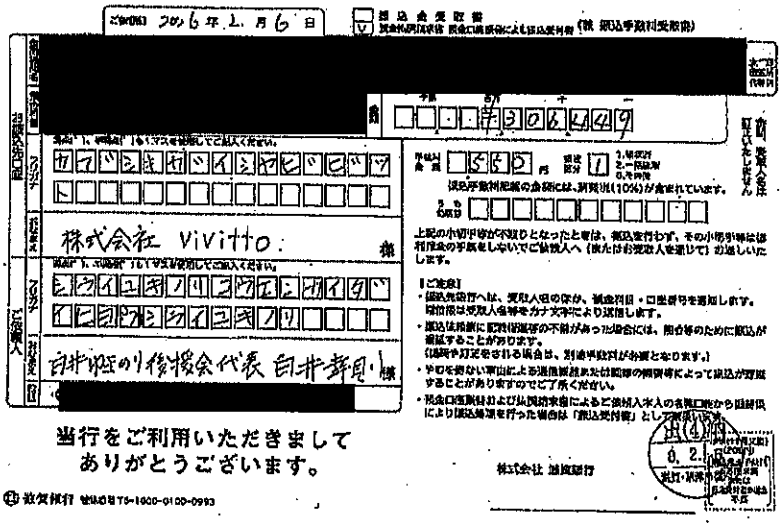
（参考様式１）

領収書等の添付様式

使途項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請陳情等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務所費・事務費・人件費
整理番号	k-603

領収書その他の証拠書類の添付欄

k-603



ご依頼日 2026年1月6日

[redacted]

株式会社 vivitto 様

自由民主党 後援会代表 自由 幸男 様

[redacted]

当行をご利用いただきまして
ありがとうございます。

株式会社 加盟銀行

事業名、使途および内容等
◆広報誌の発行㉒　発行日令和8年1月18日　発行部数　24,050部 支払日令和8年2月6日　支払額　306,999円（振込手数料550円を含む）　按分により153,499円を支出

按分による支出の場合の記載事項	按分の率	1/2
政務活動費として支出する額	153,499 円	

（注）1　領収書等は、この様式に添付してください。
2　政務活動に伴う経費とそれ以外の活動に伴う経費との按分が必要な場合は、「按分による支出の場合の記載事項」の欄に、按分の率を記載してください。
3　添付した領収書等の金額のうち、政務活動費として支出する額を記載してください。

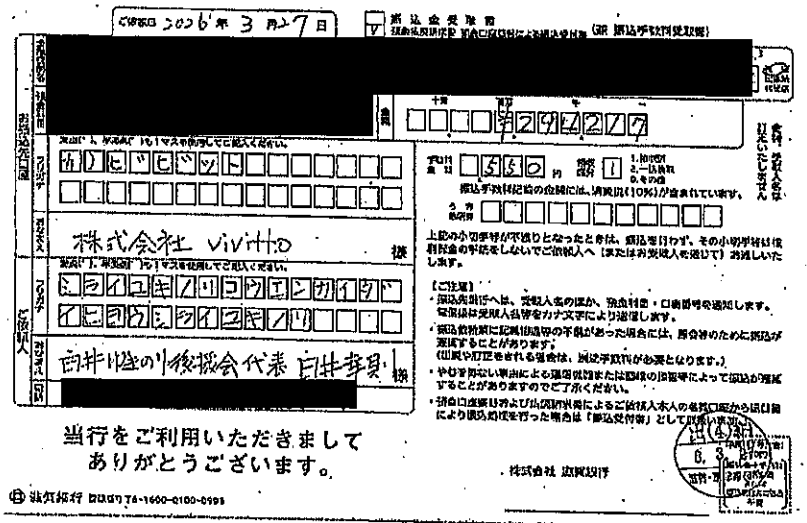
（参考様式１）

領収書等の添付様式

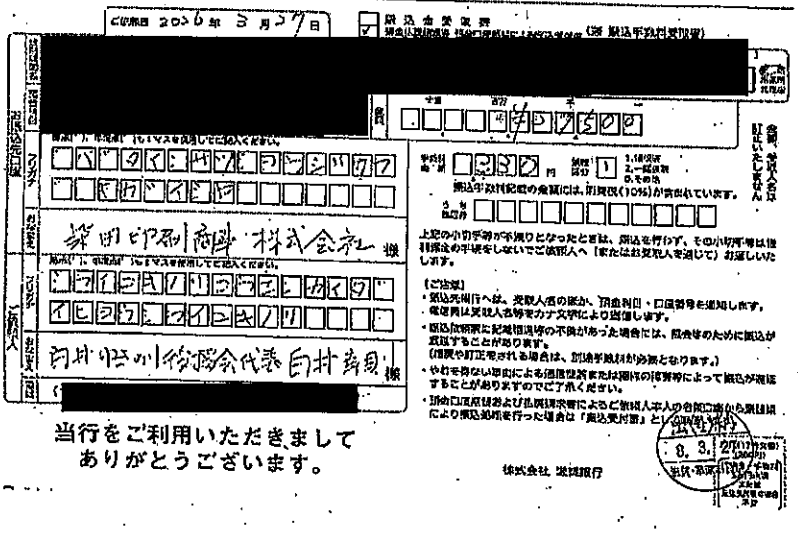
使途項目	調査研究費・研修費・(広聴広報費)・要請陳情等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務所費・事務費・人件費
整理番号	k-621、k-622

領収書その他の証拠書類の添付欄

k-621



k-622



事業名、使途および内容等
k-621◆広報誌の発行㉘　発行日令和8年3月29日　発行部数　23,750部 支払日令和8年3月27日　支払額　294,767円（振込手数料550円を含む） k-622◆広報誌㉘裏面版下製作費 支払日令和8年3月27日　支払額　27,830円（振込手数料330円を含む）

按分による支出の場合の記載事項	按分の率	1/1
政務活動費として支出する額	322,597 円	

（注）1　領収書等は、この様式に添付してください。
2　政務活動に伴う経費とそれ以外の活動に伴う経費との按分が必要な場合は、「按分による支出の場合の記載事項」の欄に、按分の率を記載してください。
3　添付した領収書等の金額のうち、政務活動費として支出する額を記載してください。

県政レポート

ほんまにやらなあかん! VOL.20

白井Go! Go! ゆきのり

ホームページ

白井ゆきのり
県政報告会のご案内

場所　クサツエストピアホテル「瑞祥の間」
日時　4月26日(土)
16:00~17:30
(受付 15:00~ 開場 15:30)
会費　無料　※予約不要
定員　150名（予定）
多数の方のご参加をお待ちしております。

NEW! 対談 NO.1

現役大学生と語る 滋賀県が育てる 子どもたちの教育と未来。

滋賀県には、自然体験学習の「うみのこ」「やまのこ」「たんぼのこ」また「ホールの子」など多様な学びの場があります。また、2028年4月には野洲市に県立の高等専門学校を開校予定。時代と共に変わる教育と変わらない教育。滋賀県が育てる子ども達の未来とは。

多様な学びの場と選択肢の提示

白井　まずは、成人おめでとうございます。「二十歳のつどい」に参加して、新たに心の変化はありましたか？

遊谷　ありがとうございます。改めて成人としての自覚と責任を持って行動しなければという思いになりました。

白井　僕も来賓として出席させていただいていましたが、若いパワーがすごいですよね。周汰くんは今年大学3回生、将来は何を目指しているの？

遊谷　教員を目指して、教員課程を履修しています。昨年は10か月間オーストラリアへ留学をしていたので、今後は教育実習などで忙しくなると思います。また、高校生の時からサッカーコーチをしていたので、部活の顧問などにも関われたらと思っています。

白井　子ども達に関わる職業ですね。子どもの将来には無限の選択肢があり、可能性しかない。でもその選択肢を示してあげるのは、教員や大人の仕事であり責任かなと思います。子ども達にどんなことを教えてあげたい？

遊谷　「楽しむ」ということです。そして「楽しむ」の先にもっと知りたいこと、やりたいことが出来たら、自分で行動・活動できるということを教えてあげたいです。

白井　そうですね、いろいろな活動ができるという事を知るのも大切ですね。そして興味や関心を持った事は、その子の得意になることが多いから、経験や体験て大事ですね。滋賀県には小学校5年生で、特別支援学校の子も含めて「うみのこ」の体験学習があります。そこでの体験で環境や人との触れ合いに興味を持つ子もいるので、誰もが体験する貴重な良い機会ですよね。

遊谷　いつもの勉強と違って面白かったですけど、他の学校の子と一緒に食事をしたり、寝る時にみんなでいろいろな話をしたことが良い思い出です。そして何といっても「うみのこカレー」が美味しかったですね。他にも琵琶湖の名産品を食べて滋賀県や琵琶湖に愛着を持つ良い体験でした。

白井　滋賀県には他にも「やまのこ」「たんぼのこ」「ホールの子」があるけど体験しましたか？

遊谷　はい、コンプリートしています(笑)。「やまのこ」では金勝山に行って、大きな丸太を切って大変だったのを覚えていますし、「ホールの子」ではミュージカルを見て感動し、しばらくの間友達と真似をして歌っていました。

理系の人材を育てる

白井　滋賀県は「内陸の工業県」って言われていて、工業製品の産出高が日本でも指よりのトップクラスにあります。そこで、県内の理系人材を育てようと野洲市に高等専門学校（高専）の設立計画が進んでいます。国立の高専は全国にありますが、滋賀県は県立で設立し優秀な人材を育て、先端研究をされている工場や企業へ繋いでいきたいと思っています。

そこでね、「かがくのこ（仮）」体験ができたら良いと思っているんです。例えば、今で言うと最先端の半導体技術に興味を持つ子どもたちが育ってくれると良いなって思っています。遊谷君は理系はどう？

遊谷　まったくダメです。九九までは順調だったのですが、分数や百分率ぐらいから混乱してしまい、その後は完全に苦手科目になりました。

白井　僕もボランティアで勉強を教えに行くけど、算数が苦手な子は数学も嫌いになってしまうよね。でもつまずきがちな百分率を乗り越えた子どもは、算数・数学と好きになり、理系へと進むことが多いみたい。だから小学校のうちに「理系」のことにちょっとでも興味や関心、面白さを感じてもらえると苦手意識もなくなり、好きになってもらえるのかなと思っています。

遊谷　その頃に「かがくのこ（仮）」を体験していれば、将来の目標がまた違ったかもしれませんね。

選択肢を示してあげられる人に

白井　子ども達が一生懸命勉強する理由のひとつは、将来の自分の選択肢を広げるということです。是非、周汰君には子ども達に将来の選択肢をたくさん示してあげられるような教師あるいはコーチになってもらえたら嬉しいと思います。

僕もまた議会を通して、理系人材、科学に興味を持つ子ども達が県内で育っていくように「かがくのこ（仮）」の事業を、次の議会で提案していきます。今日はどうもありがとうございました。

遊谷　はい、頑張ります。ありがとうございました。



対談の様子は
白井ゆきのりチャンネルで
ご覧いただけます

佐世保工業高等専門学校の視察

滋賀県では、滋賀発で次代の社会を支える高度専門人材を育成するとともに、技術者育成・交流のハブとして地域産業・社会に貢献するため、県立の高等専門学校（野洲市）の開校に向けた準備を進めています。この度の視察では、学校の概要と運営状況などについて質疑、施設の見学等の調査を行うことができました。今後、2028年4月の高等開校に向けて、役立ててまいります。



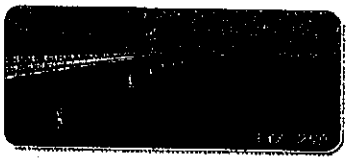
滋賀県立高等専門学校ホームページ　https://shiga-kosen.usp.ac.jp/

南湖の「第3大橋」の検討が進んでいます

県内外の各拠点間連携や移動の円滑化、滋賀県の均衡ある経済発展や東西の移動時間短縮等の推進に向けた「琵琶湖を横断する新たな道路（第三大橋）」について、令和4年度から調査研究が進められています。

昨年度は南湖横断ルートの交通需要予測や事業採算性についての検討、長大橋梁や沈埋トンネル等の最新技術の情報収集等が行われました。令和7年度以降は、隣県を含む広域的な経済波及効果等についても幅広く調査研究を進める予定になっております。

「代表質問の様子」↓



びわスポキッズフェスティバル in 草津

子ども達に運動の楽しさを伝えるイベントが草津市立総合体育館で開催されました。びわこ成蹊スポーツ大学の学生キッズリーダーのもと、ボールを運んで集めるゲームやコーンを倒して起こすゲーム、しっぽとり、キャッチボールなど、子どもたちの年齢に適した運動あそびを行いました。219名の参加された子ども達はおもいおもいに体を動かし、笑顔と歓声が溢れる楽しいフェスティバルでした。



【滋賀県議会議員　白井ゆきのり事務所】〒525-0034　草津市草津3丁目13-7 TEL.077-568-5017 FAX.077-568-5083 Mail:gogoyukinori@gmail.com

Vol.20
2025.3

県議会議員 白井ゆきのり 県政レポート

ほんまにやらなあかん!

自由民主党滋賀県議団

常任委員会
総務・企画・公室常任委員会(委員長)
特別委員会
行財政・DX推進特別委員会
議会運営委員会



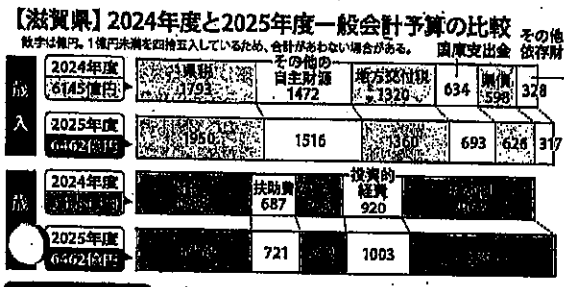
桜の開花の便りに心はずませる季節、皆様には益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り有難うございます。さて、いよいよ新しい年度が始まります。先日、閉会した2月議会において、令和7年度の予算が可決成立いたしました。主な予算についてご報告させて頂きます。滋賀県も厳しい財政事情の中、不断の行財政改革に取り組みつつ、新しい事業も計画をし、県政を一歩一歩前に進めようとする予算になっています。県議会議員として、次年度もしっかりと県政の課題に取り組んでまいる所存です。皆様の声を1つでも多く県政に届け、県民にとって、より良いものとなるよう頑張ってまいりますので、変わらぬご厚誼をよろしくお願い申し上げます。

令和7年3月吉日　滋賀県議会議員 白井ゆきのり

2025年 滋賀県 新年度一般会計予算　総額 6,462億円　『輝く』今を、ともに生きる!『健康しが2,0』

【滋賀県】2024年度と2025年度一般会計予算の比較

数字は億円。1億円未満を四捨五入しているため、合計があわない場合がある。



総務・企画

北部3市(長浜・高島・米原)振興プロジェクト 3億9,000万円

地震被害想定調査費 4,928万円
CO_2ネットゼロ推進費 7億5,531万円
防災行政無線更新費 1億990万円
防災ヘリコプター整備費 2億7,600万円
消防学校施設改修 7億6,047万円
地籍調査員補助(17市町) 2億2,700万円
びわ湖ハイウェイ運用費 3億4,113万円
CO_2ネットゼロ推進費 3億1,603万円
太陽光発電製品推進費 1億7,183万円
水素エネルギー推進費 3,838万円
電子県庁推進費 1億9,141万円
AI、データ分析、ビジネスチャット運用
新 防犯カメラ設置事業 1,500万円

公式ホームページ制作費 2,100万円
滋賀の戦略PR 2,390万円
県立大学運営振興費 43億6,852万円
3人目無料政策など
県立高等専門学校設置費 13億6,987万円
寄附金等の基金積み
私立学校補助費 3億5,331万円
新 次世代型太陽電池購入費 2億5,000万円
ペロブスカイト太陽電池を県庁舎等に設置

中国湖南省訪在員費 1,978万円
国際交流推進費 8,862万円
ブラジル・ベトナム・オーストリア・インド
自治振興交付費 5億868万円
県民相談センター設置 684万円
多性相談窓口一元化
537万円

環境・農林水産

新 木育施設「しがモック」新設 2億3,985万円
近江富士花緑公園
水産試験場整備費 8,943万円

しが農業担い手育成 3億7,616万円
新規就農者確保
しがの水田総合対策費 3億570万円
きらみずきブランド化
環境にこだわり農業推進 5億2,247万円
「農業遺産」プロジェクト推進 2,453万円
精算力対策費 2億4,469万円
北部農業推進費 2,550万円
高島でオリーブプロジェクト
土地改良事業費 67億1,586万円
琵琶湖漁場生産力向上研究費 691万円
森林づくり事業 15億2,777万円
少花粉スギ育成・びわ湖材利用助成1億3,379万円
森林組合経営支援費 1億4,025万円
造林公社償還金 29億6,520万円
伊吹山保全対策 1億円
目指・巨木保全 高島・杉原・丹生地区 770万円
鳥獣害対策 ニホンジカ・ニホンイノシシ 2億9,748万円

矢橋帰帆島公園遊具費 5,500万円
琵琶湖博物館研究・運営費 8億2,400万円
ナイトミュージアム開催
水草刈取り 2億1,471万円
西の湖水質改善 1,460万円
早崎内湖再生 1億7,345万円
ヨシ群落保全費 2,944万円
レジャーボート対策費 1,923万円
新 「世界湖沼の日」推進費 1,284万円
8月27日に決定
肉用牛振興対策 1億9,581万円
キャトルステーション運営など
畜産経営支援費 3億1,585万円
食肉流通推進 6億4,600万円
水産物流通対策 3,940万円
有害外来魚ゼロ作戦 2,500万円
アユ資源維持対策 3,752万円

近江の食品推進!
米!きらみずきブランド化 2,381万円
近江のお茶グローバル化 3,775万円
湖魚を大学・企業の食堂に1,600万円
いちご!みおしずくブランド化 1,314万円
近江牛を学校給食に 1億6,300万円
びわマス養殖推進 580万円

教育・文化スポーツ

「幻の安土城」プロジェクト 1億3,128万円
新 安土城築城450年事業 817万円
「彦根城」世界遺産推進 2,800万円
新琵琶湖文化館整備 20億4,432万円
(大津港内) PFI設計業務にて
びわ湖ホール管理運営費 9億2,315万円
滋賀県立文化産業交流会館管理運営費 3億1,900万円
県立美術館展覧会開催費 1億5,600万円
指定文化財助成費 1億3,431万円
湖底水中遺跡発掘事業費 881万円
学習船うみのこ活動 1泊2日102人乗 4億7,956万円
部活動指導員配置 高校(56名)中学(172名) 2,900万円
新 部活動地域移行改革支援 6,779万円

大津北警察署、甲西駅前交番、五個荘交番

子ども・子ども・子ども関連予算

子育て環境づくり 6億1,624万円
滋賀で家族になろう事業　子ども子育て交付金
滋賀で誕生ありがとう事業　(19市町4億円)
子ども食堂支援事業
新

利用しやすい保育所づくり 36億7,221万円
保育対策(18市町) 5億5,040万円
地域子育て支援(19市町) 2.7億8,857万円
保育士サポート支援 2,902万円
給食費負担軽減支援 2億3,898万円

SNS活用子どもと親の相談事業 1,495万円
放課後児童クラブ支援推進費 7,756万円
児童虐待防止・早期発見対策費 3,878万円
新 フリースクール取り組み支援 1,920万円
母子保健対策 1億6,465万円
妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援
ひとり親医療給付費 1億4,572万円
ひとり親家庭福祉費 4億5,219万円
新 子ども若者部に『子ども権利室』新設置

『大阪・関西万博』・『国スポ・障スポ』関連予算

新 大阪・関西万博推進費 1億7,900万円
観光活性化費 8,566万円
インバウンド向上費 8,398万円
競技力向上対策費 7億9,742万円
選手大会参加費 1億6,970万円
施設整備費(彦根スポーツ公園他) 13億212万円
新 国スポ、障スポ大会負担費 120億円

土木・交通

道路関係公共事業 259億5,649万円
河川関係公共事業 124億2,291万円
砂防関係公共事業 43億2,717万円

都市公園事業 3億3,597万円
スケートボードパーク整備(浜中山公園・長浜ふれあいパークの他)
直轄河川整備 1億7,229万円
(瀬田川・野洲川・大戸川ダム)
交通安全推進2億5,622万円
道路維持費8億6,394万円
国庫補助道路負担金150億円(国道161号・1号・8号)

草津市内の主な土木工事予算

道路名	工事内容
浜街道(御山団前)	道路拡張・歩道整備
山手幹線(山寺町～草場町)	新設バイパス
片岡栗東線(栗東町)	歩道・交差点改良
浜街道(下笠町交差点)	道路拡張・歩行者信号機
浜街道(北大萱町～下笠町)	道路拡張・歩道整備
計画道路平野南笠線(滋賀医大東側)	道路拡幅(4車線化)
近江八幡大津線(下物町・道の駅)	駐車場拡張
浜街道(志那中町)	歩道橋改修
大津能登川長浜線(弥川)	橋梁修繕
草津守山線(矢橋町)	新草津川大橋修繕

河川名	工事内容
草津川(矢橋町～御所町)	浚渫
北川(矢倉・野路)	天井川切下げ
伯耆神川(区間1)(北山田町・下笠町)	河道内公園整備
姉帰島中間水路(矢橋町)	人工水流実証試験
水草除去(下笠町・岩根)	掻こそぎ・表層刈取り

公園名	工事内容
琵琶湖湖岸緑地(矢橋町・烏帽1)	水洗トイレ・上下水
琵琶湖湖岸緑地(志那町・志那1)	水洗トイレ・上下水
帰帆島公園(矢橋町)	遊具更新

近江八幡大津線(新浜町～下笠町)ビワイチ自転車通行帯

新 ライドシェア実験事業 2,400万円
(甲賀市・東近江市・愛荘町・日野町)
新 タクシーアプリ拡大事業 1,827万円
(甲賀市・東近江市・愛荘町・日野町)

「近江鉄道」再構築 2億2,912万円
地方バス対策 2億6,603万円
鉄道整備促進事業費 6,069万円
信楽高原鉄道3,656万円　草津線269万円
湖北鉄道地域推進574万円　湖西線P600万円
建設業者指導育成 新 けんせつみらいフェスタなど 3,407万円
港湾耐震整備 2億7,194万円
長浜港1億2,410万円、彦根港1億1,302万円
新 大津港照明LED化 1億9,000万円
新 THEシガパークプロモーション 3,700万円
新 安曇川ダム対策 2億円

厚生・産業

商工会、商工会議所活動費 14億6,266万円
中小企業団体中央会補助金 1億1,299万円
地域医療総合確保 32億5,346万円
効率的に質の高い医療体制構築
救急医療対策補助金 3億5,090万円
流生魚誤飲、大体日赤、長浜日赤
県立総合病院事業繰出金 49億2,586万円
がんばる医師応援補助 1億8,500万円
(1名約300万円)
看護職員確保対策 1億7,257万円
障害者福祉対策事業費 15億7,436万円
障害福祉職員の2%給料支援経費
医療福祉拠点整備 10億9,577万円
介護総合対策費 9億9,336万円
ロボット、ICT導入支援
障害者自立支援費 132億6,255万円
生活保護費 12億2,728万円
自殺対策費 5,016万円
動物保護管理推進費 8,845万円
平和祈念館事業費 7,452万円
陶芸の森事業費 1億8,813万円

女性活躍推進費 1億4,446万円
産業マザーズジョブステーション運営など
新 産業立地開発事業特別会計 2億円
(大津・高島・東近江 3地区)
新 しがテックイノベーション創出事業
半導体企業誘致へ 3億3,781万円
水環境ビジネス推進事業 3,999万円
ベトナムビジネスサポート事業 1,023万円
持続可能な物流支援 7,845万円
施設改修・人材育成
レイカディア大学推進運営費 2億2,193万円
ここ滋賀推進事業費 2億300万円
観光イベント推進
びわ湖花火大会など 3,000万円
新 大河ドラマ観光客誘致事業 4,000万円
観光振興推進費 4億7,644万円
シガリズム観光、大河ドラマ発信
国際観光、ビワイチ観光

警察

新 3年間で90名の警察官増員 60名の警察官増員(過去最多)
警察署、交番新整備 1億3,743万円

大丈夫か! 未来の滋賀県?

令和7年度予算
財源不足 104億円
基金取崩 48億円
県債発行 56億円
借金(県債発行額) 6,800億円
残金(基金残高) 317億円

モーターボート競走事業

事業営業収益目標
706億8,810万円
令和7年度 一般会計当初予算に繰入 15億円

大丈夫か! 県政後始末予算?

新幹線新駅 地域振興事業費 758万円
丹生ダム地域整備事業費 7,200万円
余呉湖トイレ整備 他

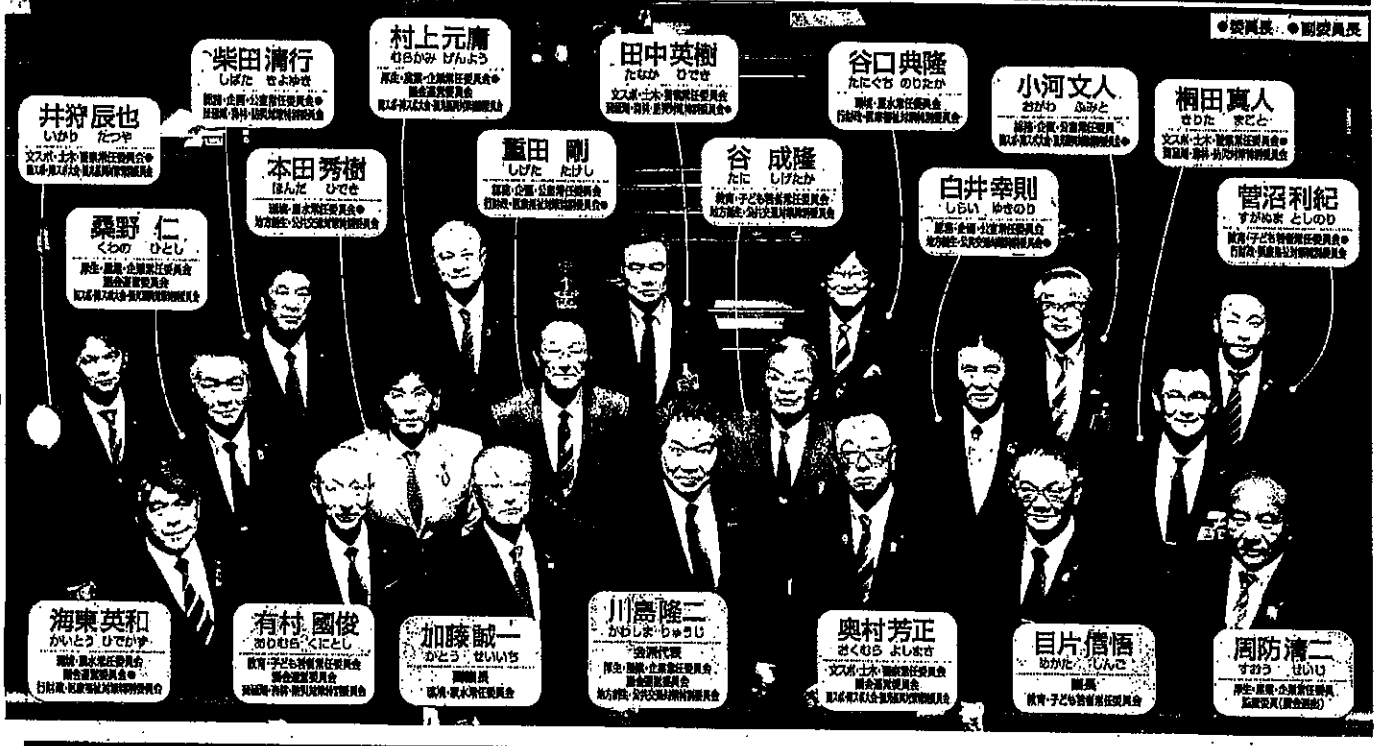
発行 【滋賀県議会議員 白井ゆきのり事務所】 〒525-0034 草津市草津3丁目13-7 TEL.077-568-5017 FAX.077-568-5033 Mail: gogoyukinori@gmail.com

自由民主党 滋賀県議会議員団 県議会レター

歩む滋賀県政do

みなさまの暮らしを豊かに。

編集・発行／自由民主党滋賀県議会議員団



代表質問 6月定例会議



質問者 村上 元庸 議員

1. 滋賀県防災対策の推進に関する条例に基づく取組について
2. 大学連携の現状と今後の取組方針について
3. 今後の行財政運営について
4. 「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」の成功に向けて
5. 強靭かつ持続可能な下水道システムの構築について
6. 平和への取組について
7. 保育人材の確保について
8. 中小企業の"稼ぐ力"の強化について
9. 観光誘客・振興について
10. 水産業の直面する課題について
11. 水田農業の推進について
12. 道路整備事業の推進について
13. これからの滋賀の教育行政について
14. トクリュウ対策について

「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」の成功に向けて

Q 現在把握している大会に向けた課題への対応と準備状況、更なる機運醸成に向けた取組について伺う。

A 開催に向けましては、国スポリハーサル大会などを踏まえ、大会運営やおもてなしの準備を着実に進めており、警備や熱中症予防など、本番を想定した対策に取り組んでいるところです。

加えまして、障スポリハーサル大会では、悪天候下での開催判断や、運営スタッフやボランティアの活動等について課題や改善点を再認識したところであり、その対応を指示しているところでございます。

大阪・関西万博の期間との重複から心配しておりました宿泊施設やバスの確保につきましても、県内のホテル・旅館などの宿泊施設やバス会社等の御協力により、おかげさまで概ねの目途が立ってまいりました。

更なる機運醸成に向け、ＪＲの駅など街を大会装飾で彩るシティドレッシングを展開いたしますとともに、大会100日前イベントとして平和堂ＨＡＴＯスタジアム周辺の一斉清掃を実施いたしますほか、市町におきましては炬火（きょか）イベントや大会期間中の情報発信なども企画されております。県民や企業、市町の皆様にも御協力いただきながら、オール滋賀で大会を盛り上げてまいりたいと存じます。捉えているところです。全国大会や日本代表等の合宿の誘致に向けて、「攻め」の誘致活動を展開してまいりたいと思います。

Q 国スポ・障スポの将来を展望し、どのような大会を目指しているのか伺う。

A 昨年の佐賀大会では、自由で楽しさあふれる開・閉会式など、新しい大会として様々なチャレンジが行われたところでございます。これらの取組を滋賀らしく進化させることに加えまして、環境配慮の実践など、滋賀ならではの取組を通じて大会に関わるすべての人が光り輝く大会となることを目指しております。

公共交通機関の積極的な活用やマイボトル持参など、大会を通じて環境を考える機会が根付き、また、ボランティアの皆さんの活躍が、スポーツを支える文化の醸成につながるものと確信しております。そして、これらの思いは、後々の大会にも受け継がれていくものと考えております。

県民の皆様と一緒に、滋賀ならではの魅力と感動をつくり出し、湖国で生まれた感動が、両大会に関わるすべての人の心に刻まれ、将来にわたって引き継がれるよう、残された期間で着実に準備を進めてまいりたいと存じます。

Q 両大会に挑む滋賀県選手団や帯同者へのサポート体制と目標達成に向けた決意を伺う。

A 本県選手団へのサポートは極めて重要であり、例年にない規模で臨むことになる今年度は、特に配慮が必要だと認識しております。

国スポに向けましては、日頃の練習から医科学面でのサポートの充実を図りますとともに、本番では各競技に必要なコーチやトレーナーをすべて配置できるよう支援し、選手のコンディション維持やパフォーマンス向上につなげてまいります。

医師として村上先生にはいろいろとお世話になっておりまして、心から感謝申し上げたいと存じます。

また、障スポの選手団は、大規模な大会への参加経験の浅い選手が多いことから、本番を想定した練習機会の充実を図りますとともに、大会当日の選手団の移動や身の回りの支援など、障害特性に応じたサポートを行うことで、選手の皆さんがリラックスして競技に臨めるよう配慮してまいります。

これら質の高いサポートを通じて、選手の皆さんが自信を持って本番を迎え、持てる力をすべて出し切っていただくことで、目標である国スポ総合優勝と、障スポ全種目での本県選手の活躍の実現を目指してまいりたいと存じます。

Q 大会のレガシー継承・将来への活用にあたり、どのようなことを思慮しているのか伺う。

A 大会で活躍いただく選手や指導者が、滋賀の地に残り、子どもたちを始め、県民にスポーツの魅力を伝え、様々な形で県民のスポーツ活動の充実に貢献いただくことを期待いたします。

また、大会を支えていただくボランティアの皆さんには、引き続き大規模大会等、様々な機会でご活躍いただきたいと思います。

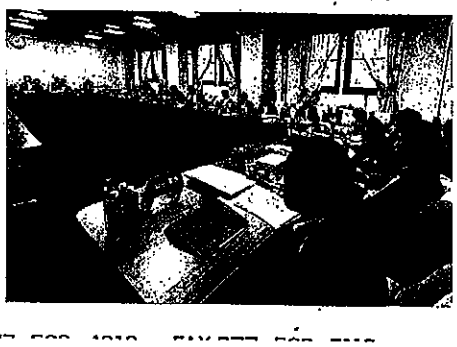
本大会に向けて整備を進めてきた施設におきましては、各競技の実施にとどまらず、大規模大会の誘致やプロスポーツでの活用などを積極的に進め、多くの人がスポーツを「する・みる・支える」場としての賑わいを創出していきたいと存じます。

両大会を通じて得られる有形無形の様々なレガシーは、これからの滋賀にとって貴重な財産でございます。将来に向けたレガシー創出のための取組を全庁あげて推進し、健康しがの実現に向けて、全力を尽くしてまいりたいと存じます。

令和7年度 友好団体政務調査会

友好団体のご要望を頂戴しました！

合計67団体からの要望を5月26日～6月6日のうち8日間に渡って承りました。頂いたご要望については実現に向けて誠意努力いたします。また県内全19市町からの要望を承る令和7年度都市別政調会を7月29日～8月8日の日程で実施いたします。県内すべてのみなさまの声が県政に反映されるよう頑張って参ります。



県政レポート

ほんまにやろなあかん! VOL.21

ホームページ

白井 Go! Go! ゆきのり



4/26(sat) 県政報告会

"8つの取り組み" について、進捗状況を報告させていただきました。

県政報告会には、多くの皆様にご参加いただき、誠にありがとうございました。
今後も皆様からいただいたご意見・ご要望を大切に、全力で取り組んでまいります。

VOL.1 草津養護学校の分離新設

知的併置の特別支援学校の新設が決まりました。設置場所は守山市金森町の湖南幹線沿いの約3万㎡の敷地です。

令和7年度中に造成工事の設計に着手し、令和9年度から建設工事に着手できるのではないかと思います。

VOL.2 医療的ケア児の支援と小児保健医療センターの新設

滋賀県立小児保健医療センターが県立総合病院に統合され、今後センターの移転新築が予定されています。そこで医療的ケア児の親の会「めでぃっこ親の会」から聞き取りを行い、滋賀県病院事業庁など関係機関との意見交換を実施しました。引き続き、より良いセンターになるように取り組みます。

VOL.3 先端技術研究と企業誘致の取組み

滋賀県は立命館大学半導体応用研究センターと連携し、先端技術研究に取り組んでいます。滋賀県工業技術総合センターと立命館大学のセンターを拠点とし、国の補助を活用して施設整備を進めていきます。

今年度は特別委員会でこういった取り組みの根拠となる条例を作ります。

VOL.4 「全国都市緑化フェア」開催

このフェアは来場者100万人、経済効果100億円が見込まれるビッグイベントです。令和7年2月に草津市が開催誘致の意向を表明し、本年度から関係機関との打合せが始まりました。秋篠宮家をお招きするイベントですので、準備には時間と労力が必要なことから、2030年頃の開催を目指すのが現実的と考えられます。

VOL.5 科学技術体験「かがくのこ」の導入

子ども達の科学への興味を育み、理系人材の育成につなげるため、義務教育段階での科学技術体験の導入を提案しました。

そして福永教育長の答弁より「かがくのこ」と名付けられ、県内で実施されていくことになります。

VOL.6 第3大橋

第3大橋は、びわ湖大橋・近江大橋に次ぐ、琵琶湖の東西をつなぐ交通網の整備構想です。

令和7年2月の定例会議において、三日月知事が「設置場所には南湖で検討、令和7年度から事業形態や工法の研究、エリアを広げた経済効果についても検証する」と答弁されました。今後は道路整備課や滋賀県道路公社を中心に具体的な検討を進めてまいります。

VOL.7 平野南笠線

令和5年度から令和14年度を計画期間とする「滋賀県道路整備アクションプログラム2023」に「平野南笠線」が追加されました。国スポ開催までに、山手幹線からダイハツアリーナまでの4車線化が完成予定です。

その後、名神高速道路を越えていく大規模な工事です。さらには平野南笠線の新交通の専用レーン設置についても検討してまいります。

VOL.8 旧草津川の区間1の整備

旧草津川跡地の第1区間に芝生を張り、グラウンドゴルフのコースとしてご利用いただける環境づくりに取り組みました。併せて、フェンスや階段などの整備も進めており、地域のシニアの皆さまが安心して安全に楽しめるよう、できるだけ早期に整えてまいります。

ご挨拶

秋の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。今年は6月早々に梅雨が明け、例年にない暑さとなっております。どうか熱中症対策をご自身でご自愛くださいますようお願い申し上げます。

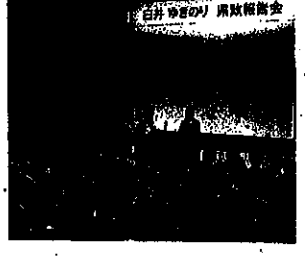
さて、皆様の温かいご支援のおかげをもちまして、県議会議員2期目の当選から早くも2年が経過いたしました。皆様の一票一票の重みを胸に、地域の声に真摯に耳を傾け、寄せられたご要望の実現に引き続き全力で取り組んでまいります。

今年度は地方創生・公共交通対策特別委員会委員長を拝命し、総務・企画・公室常任委員および政務調査会委員にも選任されました。これまでに培ってきた経験を活かし、より一層積極的に活動してまいります。今後とも変わらぬご支援とご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

まだしばらくは暑さが続くとのこと、どうか体調管理には十分ご留意くださいませ。

令和7年8月吉日

滋賀県議会議員 白井幸則



「8つの取り組み」の詳細はインスタグラムでご覧いただけます。ぜひフォローお願いします!

地方創生・公共交通対策特別委員会 県内行政調査

7月23日、彦根市にある株式会社SCREENホールディングス彦根事業所を訪問し、調査を行いました。

株式会社SCREENホールディングス彦根事業所は、半導体の洗浄装置について世界トップシェアを誇る同社の主力工場で、半導体の需要拡大に応じた設備投資を続け、生産能力を高めておられます。

本県経済の発展には、企業の稼ぐ力を高め、特に成長が見込まれる分野への設備投資や次世代技術の開発に投資を行っていく必要があると考えます。今後、委員会で議論していく上で、非常に有意義な視察となりました。

本委員会では、今後とも多面的な調査研究を実施し、効果的な政策提言を行えるよう、努めてまいりますので、県民の皆様の御理解と御支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



2025大阪・関西万博 滋賀県ディ

7月24日の万博の滋賀県ディ「びわ湖サマークルーズ」に合わせて、自民党の会派研修で「大阪関西万博」へ行ってきました。

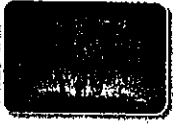
EXPOホール「シャインハット」で開催された滋賀県ディのイベントは、学習船うみのこに乗船して、大津港を出港するところからスタートです。延暦寺の"不滅の法灯"と天台声明、草津市下笠町の"サンヤレ踊り"などが披露されました。

大変多くの方が、来場くださいました。私たちも、もっと滋賀県の良さをアピールしていきます。









第42回 全国緑化フェア視察

4月23日から岐阜県で開催された「第42回全国緑化フェア(ぎふグリーン・ライフフェスティバル2025)」は、来場者200万人を記録し、6月15日に閉幕しました。

期間中、草津市・栗東市・野洲市の県議会議員で視察を行い、「自然と私たちの暮らし(グリーン・ライフ)」をテーマにした多彩な取組を体感しました。

令和4年より関係団体や市町との調整を重ねており、いよいよ滋賀県開催に向けた本格的な準備の段階に入っています。



自由民主党 滋賀県議会議員団 県議会レター

私たちの滋賀県政

みなさまの暮らしを豊かに。

発行：令和7年2月1日／自由民主党滋賀県議会議員団

代表質問 11月定例会議



三日月知事3期12年の成果を質す!!

質問者 桐田 真人（きりた まこと） 議員

滋賀地域交通計画といわゆる「交通税」について

Q 県境をまたいで運行する事業者の経営的な負担の軽減のために、県民に税負担を求めることについて、認識を問う。

A 交通事業者を守ることを目的として、経営を直接的に支援するために県民の皆さまに新たな負担をお願いすることは、ご理解をいただくことが難しいのではないかと考えます。
一方、通勤や通学などで県境を越えて移動している県民もおられることから、「県境をまたいで運行している」ことのみをもって県税を財源とした事業の対象にふさわしくないとは思いません。大切なことは「より良い暮らし」を実現するために、みんなでいっしょに考えていくことが自治の視点からも重要だと考えております。広域交通も含めた本県の地域交通のあり方について、具体的にどういった施策のために、どのような負担をお願いすべきなのか、丁寧に説明と議論を積み重ねてまいりたいと存じます。

Q 市町に対して財源の負担を求めるのか、市町との役割と負担分担をどのように考えているか、問う。

A 施策の役割分担について、大きくは、広域行政である県は交通軸をはじめとする県域全体のグランドデザインを描く役割を担い、県も住民と近い市や町は地域内を移動する交通網を主に担うものだと考えております。
また、人々の移動は市町域を超えて行われており、デマンド交通の広域化への調整や、複数市町の取組みに対する重点支援は県の役割であり、計画の中にも位置づけています。
住民の日々の生活に直結する移動手段の維持・充実は、「豊かな暮らし」を実現する上で重要であり、施策実施のための県と市町との負担割合は、市町の果たす役割の重要性や、税制審議会や滋賀地域交通活性化協議会での議論、県議会議員の皆様方のご意見等も踏まえ、市町と調整を行いながら、適切な負担割合を検討してまいりたいと存じます。

Q ビジョンで描く2040年代を見据えて、既存の県財政からどれほどの捻出を想定しているのか、問う。

A 10月20日の税制審議会からの答申では、「新たな税を導入する場合の使途について、地域交通の充実のための施策に充当することが望ましい」とされたところでございます。
今後の人口減少の進展や物価上昇を踏まえますと、地域交通を「維持」することにも大きな負担増が見込まれるところであり、運賃の見直し、新たな国費獲得、新たな支援スキームの構築に向けた国への提案・要望などを行いますとともに、現行の税収を基盤とする既存の財源で対応する努力が必要だと考えております。
また、これまで数次の財政構造改革を行ってまいりましたものの、本県の財政状況は、100億円前後の恒常的な財源不足に加え、社会保障費や公債費等の義務的経費が増加基調となる厳しい見通しでありますが、毎年度の予算編成を通じた不断の見直しなどにより、財源確保に努めてまいる所存でございます。

Q 知事は任期中に「交通税」を導入したいのか。

A 地域交通計画や財源のあり方については、これまでから、県議会や県民の皆様から様々なご意見をいただきました。
フォーラムの開催、ワークショップの開催などを通じて多くの御意見もいただいております。先週1月26日に「新たな税のふさわしい制度」について税制審議会に諮問を行ったところ、公共交通は生活の基盤であり、利用する人もしない人にも便益があるというご意見や、新たな税の税収規模や必要性が伝わりにくいというご意見も頂いており、計画づくりや税制の議論に取り入れてまいりたいと存じます。
今回の諮問に係る審議は、今年度中に一旦、中間答申という形で取りまとめて頂き、答申を踏まえ、議会の皆様とも議論を重ねた上で、新たな税に関する一定の絵姿を県民の皆様にお示しすることは私の責任であると自覚しているところでございます。

県政運営について

Q 知事が県政を担当してきた約12年間を長期政権と捉えた場合の県庁組織運営全般と職員個々の意欲に与える弊害についての認識は?

A 約12年の在任期間を通し、県庁の組織運営や働く職員の意識に知事である私の考えや姿勢が少なからず影響を及ぼしている可能性、これは良い意味でも悪い意味でもあると認識しております。
そのため、私と職員の間で十分議論ができているのか、独断専行になっていないのか、常に自らに問いかけているところでございます。
また、「何のために、誰のために、私達は今、滋賀県職員として共に働いているのか」を、職員同士で、時に私も交わり議論して、滋賀県職員の志（パーパス）として定め、職員が主体的に考え、積極的に行動することに現在取り組んでいるところです。
「琵琶湖とくらしを守る。三方よしで笑顔を広げる。豊かな未来をともにつくる。」というこのパーパスを掲げる滋賀県庁として、仕事の意義を共有し、県民利益を最大化できるよう引き続き取組を進めてまいりたいと存じます。

Q 合理的政策遂行のためにどう指揮運営してきたか

A 長期的に先を見通す視点と、リアルな今を見る視点を併せ持つことが必要だと考えており、セクションごとの、部局ごとの役割と専門性に基づく着実な業務遂行に努めつつ、新たな施策の検討や機動的な体制づくりにも取り組んでおります。
また私自身、知事としては勿論、人間として俯瞰した立場から様々な問いを投げかけ、みんなで考えることを大事に指揮運営を行っています。
この約12年の間には、未曾有の経験でありましたコロナ禍をはじめ、様々な情勢変化があり、従来のような組織の枠組みや、やり方では乗り切れない事態に何度も直面してきておりますが、おかげさまで、県議会の皆様との信頼関係でありますとか、県内市町との連携、色んな団体との連携、協働の枠組みというのは、一定、構築できているのではないかと考えております。
また、年度途中におきましても、機動的な人員のシフトを行いますとともに、目的ごとに部局横断の本部やプロジェクトチームをつくるなど、私も先頭に立って、限られた行政資源を、県民の利益の最大化に向けることに努めてきております。
今後も、私自身、座右の銘といたします「着眼大局、着手小局」の姿勢を持ち続け、体現し、みんなで議論をしながら、県民の皆様の願いや期待に応えていく県政運営を行ってまいりたいと存じます。

自由民主党 滋賀県議会議員団 19人

大津市



目片 信悟（めかた しんご）（4期）
教育・子ども若者常任委員会



桑野 仁（くわの ひとし）（3期）
商工・農業・企業常任委員会
琵琶湖・環境対策特別委員会



桐田 真人（きりた まこと）（2期）
琵琶湖・環境対策特別委員会
地域交通・森林・防災対策特別委員会

彦根市・犬上郡



谷口 典隆（たにぐち のりたか）（1期）
環境・農水常任委員会
行財政・医療福祉対策特別委員会

長浜市



会派代表
川島 隆二（かわしま りゅうじ）（5期）
商工・観光・企業常任委員会
地方創生・公共交通対策特別委員会

近江八幡市・竜王町



柴田 清行（しばた せいゆき）（2期）
総務・企画・公害常任委員会
琵琶湖・森林・防災対策特別委員会



麗田 剛（たかだ たけし）（2期）
総務・企画・公害常任委員会
行財政・医療福祉対策特別委員会

草津市



副幹事長
奥村 芳正（おくむら よしまさ）（5期）
文スポ・土木・観光常任委員会
東スポ・博スポ大会・東京五輪対策特別委員会



白井 幸則（しらい ゆきのり）（2期）
総務・企画・公害常任委員会
地方創生・公共交通対策特別委員会

栗東市



田中 英樹（たなか ひでき）（1期）
文スポ・土木・観光常任委員会
琵琶湖・環境対策特別委員会

甲賀市



村上 元庸（むらかみ げんよう）（2期）
商工・観光・企業常任委員会
東スポ・博スポ大会・東京五輪対策特別委員会



小河 文人（おがわ ふみと）（1期）
総務・企画・公害常任委員会
地方創生・公共交通対策特別委員会

野洲市



副幹事長
井狩 辰也（いかり たつや）（2期）
文スポ・土木・観光常任委員会
東スポ・博スポ大会・東京五輪対策特別委員会

湖南市



菅沼 利紀（すがぬま としのり）（2期）
商工・観光・企業常任委員会
総務・企画・公害常任委員会

高島市



副幹事長
海東 英和（かいとう ひでかず）（3期）
環境・農水常任委員会
行財政・医療福祉対策特別委員会

東近江市・日野町・愛荘町



加藤 誠一（かとう せいいち）（3期）
環境・農水常任委員会



副幹事長
周防 清二（すおう せいじ）（3期）
商工・観光・企業常任委員会



本田 秀樹（ほんだ ひでき）（2期）
環境・農水常任委員会
地方創生・公共交通対策特別委員会



谷 成隆（たに しげたか）（1期）
教育・子ども若者常任委員会
地方創生・公共交通対策特別委員会

【自由民主党滋賀県議会議員団】 〒520-8577 大津市京町4丁目1-1（滋賀県庁内） TEL 077-528-4010 FAX 077-528-5110

ほんまにやらなあかん！ VOL.22

県政レポート

白井 Go! Go! ゆきのり



ホームページ　YouTube　FaceBook　Instagram

令和7年12月定例会議において、以下の項目について質問をいたしました。

【福祉作業所の就労収入について】

Q： A型事業所の「事業廃止」の要因について伺う。

A： ＜障害福祉課＞

令和6年度の障害報酬改定により事業所の生産活動に対する評価が見直されたことから、報酬が減額となり、経営が圧迫されたものと承知しております。

Q： 滋賀県障害者プラン2021の目標である平均工賃の金額に修正が必要ではないかを問う。

A： ＜障害福祉課＞

ご指摘のとおり物価上昇等の観点からも、B型事業所を利用する障害者の工賃向上にも引き続き取り組む必要があると考えてございます。

令和8年度には、新たな障害者プランの策定を予定しておりまして、国の基本指針に沿いつつ、実質的な所得向上を図るという観点を踏まえ目標を検討してまいりたいと考えてございます。

Q： 工賃目標の達成に向けた県庁における発注拡大への取り組みについて伺う。

A： ＜障害福祉課＞

今年度、企業や県・市町といった発注側のニーズと、事業所のシーズとのマッチング交流会を実施する予定をしておりまして、県自らが率先して発注拡大に向け努めますとともに、ふるさと納税の返礼品としての活用を関係部局と検討するなど、創意工夫を凝らし工賃向上に資する様々な施策を更に講じてまいりたいと考えてございます。



障がいのある方が、自立した社会生活をすることができるよう取り組みます。

【幼児期教育・療育について】

Q： 幼保小の架け橋期の課題について伺う。

A： ＜幼小中教育課＞

これまでのモデル事業の成果をもとに、幼児教育施設と小学校が連携し、互いの保育・教育の理解を促してきたところです。さらに、小学校区において、保育者と小学校教員が、共通の視点をもち、「架け橋期カリキュラム」を協働して作成する取組を進めているところです。今後さらに、カリキュラムに基づく実践の充実や、その後の検証・改善を進め、架け橋期における学びや生活の円滑な接続に取り組んでまいりたいと存じます。

Q： 障害がある幼児の幼児教育の状況について伺う。

A： ＜障害福祉課＞

特別な支援が必要な児童につきましては、幼児教育・保育施設に籍を置きながら、市町の児童発達支援センターなどの療育機関で個別の支援プログラムによる支援を行っております。さらに、重度の医療的ケア児など、より専門的な支援が必要な幼児については、県で設置している「県立総合病院療育センター」におきまして、障害特性を踏まえたより専門的な支援を行っております。

Q： 10年先、20年先を見据えて滋賀県の「療育のあり方」について伺う。

A： ＜障害福祉課＞

市町のニーズや状況に応じ、適切に支援できる広域的拠点としての機能と、医療的ケア児など医療との連携等のより専門性の高い療育ができる機能を持つ療育センターを設置することで、障害のある児童やその家族が希望を持ち、安心して暮らせる滋賀を目指して取り組んでまいりたいと考えてございます。

ご挨拶

新春を迎え、皆様にはお健やかにお過ごしのこととお慶び申し上げます。旧年中は格別のご厚情を賜り、心より御礼申し上げます。

昨年は高市早苗総理大臣が就任され、国政の新たな歩みが始まりました。高市総理には令和4年に草津へお越しいただき、ご講演を賜りました。

今後の国政においてもその手腕を存分に発揮されることを期待しております。

私は昨年より、地方創生・公共交通対策特別委員会委員長として、先端技術研究や企業誘致の基盤となる「条例制定」を目標に取り組んでまいりました。

本年も引き続き、地域課題の解決と県勢の発展に全力を尽くしてまいる所存でございますので、変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

皆様にとりまして、本年が素晴らしい一年となりますよう心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和8年1月　吉日

滋賀県議会議員　白井幸則

自民党くさつ 2026 市民講座



時局講演会 2/7(土)

自由民主党　総務会長
参議院議員（滋賀県出身）
有村 治子氏

無料（要事前申込）

時　間　午後1時30分～3時30分 受付：12時30分～
場　所　草津市立草津アミカホール
申込方法　申込フォーム又は下記のE-mail・電話・FAXにて事前申込制。
申込締切　令和8年1月23日(金)　[定員300名]
主　催　自由民主党草津市支部連絡協議会

申込フォーム

広島大学 半導体産業技術研究所へ視察

国内最高レベルの環境をもつ広島大学 半導体産業技術研究所を視察し、最先端の研究設備や、産学連携による人材育成・技術開発の取り組みについて説明を受けました。

研究所では、次世代デバイスの開発や高度技術者の育成が進められており、その先進性は国内外から高い注目を集めています。



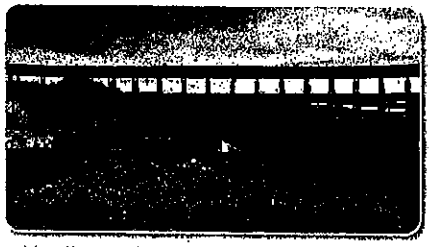
今回の視察を通じて、滋賀県における半導体関連産業の発展可能性や、今後の技術導入・企業誘致に向けた有意義な示唆を得ることができました。



今後も、先端技術分野の推進と地域産業のさらなる活性化に向けて取り組みを進めてまいります。



「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」大成功!!



昨年開催された「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」は、県民の皆さまをはじめ、多くの関係者のご協力により大成功のうちに閉幕いたしました。

滋賀県は、「びわこ国体」以来44年ぶり2度目となる男女総合優勝（天皇杯獲得）!!さらに女子総合優勝（皇后杯獲得）を獲得する歴史的快挙を達成しました。

国スポ正式競技では、金メダル35個・銀メダル32個・銅メダル27個の合計94個、障スポ正式競技では、金メダル87個・銀メダル53個・銅メダル34個（うち団体競技1個）の、合計174個のメダルを獲得されました。

滋賀県選手団の皆さん、ここまで尽力された全ての皆さん、本当におめでとうございます。そして、感動をありがとうございました。

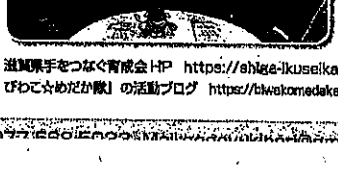
草津手をつなぐ育成会

副市長 中島 由里子さんにお話を伺いました

NPO法人草津手をつなぐ育成会は、さまざまな障がいを持つ方々が地域の中で自立し、安心して共に暮らせるよう、福祉・教育・労働・権利擁護などに関する支援事業を行い、活力ある地域社会の実現に寄与することを目的として活動している団体です。

また、一人でも多くの方に知的・発達障がいについて理解を深めていただきたいという想いから「びわこ☆めだか隊」を結成し、特性を知っていただくための6つの疑似体験プログラムを提供されています。

今後も、障がいのある方々への理解がさらに広がるよう、共に取り組んでまいりたいと思います。対談の様子はYouTube（ゆきのりチャンネル）でご覧いただけます。



動画は、こちらからどうぞ!!

ゆきのりチャンネル

滋賀県手をつなぐ育成会HP　https://shiga-ikuseikai.jp/
びわこ☆めだか隊」の活動ブログ　https://biwakomedaka.blogspot.com/

ほんまにやらなあかん！ VOL.23

県政レポート

白井ゆきのり Go! Go!



ホームページ　YouTube　FaceBook　Instagram

令和8年2月定例会議において、教育長に以下の質問をいたしました。

「滋賀県特別支援教育推進計画」について

※質問の全容は、滋賀県議会ホームページより会議録が視聴できます。

Q：実施プランの成果について伺う。

A：平成28年度から令和7年度の10年間で、特別支援教育コーディネーターがすべての小・中・高等学校において指名され、個別の指導計画が作成率が上昇し計画に基づく指導支援が広がりました。また、インクルーシブル教育システムの構築をめざし、令和4年度から特別支援学校と小学校の双方に学籍を置く副籍制度を制度化し、希望者数は年々増えてきているところです。

反省点としては、状況に応じた支援内容の見直しや、校内での共有、関係機関との連携などの課題や校内の支援制度を整える必要性があると認識しております。

Q：教育と福祉の一層の連携推進について伺う。

A：学校と保健・医療、福祉、労働等の関係機関や事業所と密接に連携をしているところです。具体的には、就学前から学校生活の充実に向けた適切な支援を図るほか、医療機関や発達支援センター等と連携し、障がいのあるすべての子どもに対して、切れ目ない支援をおこなうため引き続き取り組んでまいります。

Q：特別支援学校高等部生徒の一般就労について伺う。

A：「しがしごと検定」を通じて、受検者の85%が就労し、生徒の進路選択に一定の効果がでています。また、障がい者の法廷雇用率が引き上げられることを好機とし、「しがしごと応援団」の活用、「就職アドバイザー」による職場開拓等、就職率の向上に繋げてまいりたいと思います。

Q：医療的ケア児童生徒の通学に係る保護者支援事業に課題について伺う。

A：通学支援制度の年間利用上限回数を令和5年度に10回から12回に拡充しましたが依然として拡充を望む声もあります。一方で、医療的ケア児の通学に対応できる運送事業所や看護師の不足で予約が取れないことという課題も認識しております。

Q：利用回数を引き上げるべきではないか問う。

A：本事業を必要とされている方に対し、より手厚い支援が試行できないか、検討しているところです。保護者のみなさんの強い要望は私としても十分認識しております。予算の範囲内とはいうものの、その中で、できる限りどの程度までいけるかというのをしっかりと見定めて、今の回数よりも増やすということを考えているところです。

Q：医療的ケア児童生徒の通学に係る保護者支援事業の充実と法律施行について伺う。

A：他府県の事例を分析し、保護者の付き添いがなくても、安心安全に学べる環境を整備しているところです。また「滋賀県特別支援学校における医療的ケア協議会」を設置し、よりよい支援体制の確立を進めているところです。他府県の事例も十分に分析しながら、本県においてどういったことができるのか、持続可能でよりよい制度となるよう、今後の対応をしっかりと研究して参ります。



「滋賀県企業立地および先端技術研究開発の促進等による成長産業振興条例」

平成28年度から始まった地方創生の取り組みですが、これは人口や経済の東京一極集中を是正し、地方の人口現象に歯止めをかけ、地域を活性化させることです。

昭和40年代より滋賀県は恵まれた地理的条件を背景に、製造業を中心とした国内有数の『モノづくり県』として発展してきました。しかし近年は、産業用地の不足や地域間競争の激化、革新的技術の進展などにより、本県の経済は大きな転換期を迎えています。

こうした中、半導体をはじめとする成長産業は、関連企業の集積や雇用創出を通じて地域経済の活性化が期待されています。本県が有する研究機関の集積という強みを生かし、先端的な技術や研究開発を進めることで、既存企業も含めた産業競争力の向上につなげる必要があります。以上のことから、議員提案により『地方創生・公共交通対策特別委員会』において調査・研究と議論を重ね、このたび条例を制定することができました。

これをきっかけに、高市内閣が進めようとする「地域未来戦略」に結びつけて、滋賀の経済の活性化に努力してまいります。

■条例の主な柱■

- 企業立地の促進
  （情報提供、相談体制の整備、土地利用の総合調整）
- 研究開発の推進等（関係者の連携強化、研究環境の整備）
- 人材の確保等（成長産業を担う人材の確保、資質および資質の向上の施策を講ずる）
- 国との連携協力
  （国との必要な情報の共有、人事交流、連携協力）
- 財政上の措置
  （施策を推進するため、必要な財政上の措置を講ずる）

秋田工業高等専門学校の視察

秋田高専では、函館高専・八戸高専・資源エネルギー庁などと連携し、法人化した事業体制の下で、主に再生エネルギー分野の技術人材の育成に取り組んでいます。今回の視察では、こうした取り組みの現状を調査しました。また、国際対応力を高める人材育成として、留学や語学学習、海外の高専（タイ・モンゴル）との連携も進められています。

滋賀県では、令和10年4月の高専開校（入試は2027年秋～冬頃を予定）に向けて準備を進めており、今回の視察を通じて、開校後の事業展開に向けた検討材料となりました。

新年度より、いよいよ本格的に建設工事も始まります。万全の体制で開校できるようにまた、滋賀県から優秀な人材が輩出できるよう見守りたいと思います。



「交通税」導入について

今年度、地方創生・公共交通特別委員会の委員長として「滋賀地域交通計画」について、検討してきました。その中で執行部の案には「新しい財源」について考えることが明記されています。

滋賀県が全国で初めて導入を検討している「交通税」は、地域公共交通（鉄道・バス）の維持・活性化を目的とした新しい地方税です。現時点（2026年2月）では、2028年度（令和10年）以降に導入が検討されています。公共交通の利用の有無に関わらず、県民や法人が広く負担し合うことで、地方鉄道やバス路線を将来にわたり安定的に維持するための財源を目指すものです。

公共交通を「利用者だけのもの」ではなく「地域全体で支える社会インフラ」と位置づける構想ですが、物価高対策として消費税減税が議論される中での新たな課税であることや、利用しない人も負担する公平性の問題など、慎重な検討が必要です。



2026 Spring

夢や希望の持てる未来のために

そこまで言ってイインかい？

白井ゆきのり 県政報告会

4/25(土) 14:00～15:30 受付:13:30～　無料

キラリ工草津　大会議室

〒525-0032 草津市大路二丁目1番35号

定員：200名（入場無料・申込不要）

※ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。
※自由席ですので、なるべくお早めにお越しください。

令和7年度の取り組み

- 成長産業振興条例について
- 特別支援教育の推進計画について
- 琵琶湖第三大橋の進捗について
- 地域交通計画（交通税）について etc…

and 大好評!! 今回もやります！
活字にはできない裏話付き…♥
SNS拡散厳禁㊙

県議会議員

白井ゆきのり 県政レポート

ほんまにやろなあかん!

自由民主党滋賀県議団

総務・企画・公害環境委員会

地方創生・公共交通対策特別委員会（委員長）

Vol.23
2026.3

白井ゆきのり 検索

桜の開花に心はずませる季節、皆様には益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。2月議会において令和8年度の予算が可決し、4月から新年度施策が動き出します。一方では、いよいよ「交通税」導入についての検討が始まります。政府の高市政権では、物価高対策として消費税の減税が検討されているこの時期に、滋賀県が新たな課税を県民にお願いすることに、私は疑問を感じています。私たちの生活を支える、よりよい公共交通網の整備・再編のためにもこの機会に大いに議論してまいる所存です。

新年度もしっかりと県政の課題に取り組み、皆様の声を1つでも多く県政に届け、より良い滋賀となるよう頑張ってまいりますので、変わらぬご厚誼をよろしくお願い申し上げます。

令和8年3月吉日 滋賀県議会議員 白井幸則

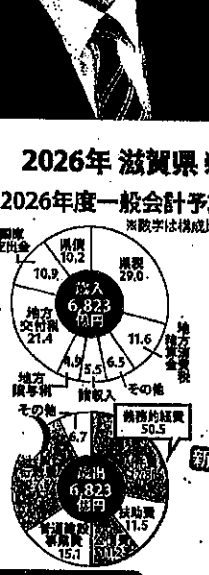
2026年 滋賀県 新年度一般会計予算 総額 6,823億4,000万円

ともにいき ともにうみ ともにそだて

ともにいきる『健康しが』

2026年度一般会計予算案の内訳

●県税収入1.4%増の1,977億円・地方特例交付金大幅増82億円（ガソリン税廃止に伴い）
●扶助費の増加や人件費増加などにより162億円の財源不足



総務・企画

新 公式ホームページリニューアル費 9,723万円（R8・9月公開予定）
滋賀の戦略的県外PR費 2,039万円
防災ヘリコプター整備費（R7.8導出型） 3億7,234万円
避難所改善事業費（BIBコンテナ・シャワー設備） 1億7,600万円
関西広域連合負担金（ドクターヘリ 1億8,521万円） 2億4,514万円
高等専門学校体制構築費 2億74万円
県立大学運営費 32億2,235万円
県立大学設備整備費（トイレ、LED化工事） 9億7,548万円
新 世界とつながるグローバル滋賀事業費（オーストリア、ベトナム） 2,221万円
友好州省経済交流駐在員事業費（湖南省、ミシガン州） 1,962万円
防犯カメラ設置促進事業費（1/2補助） 2,160万円
スマート・ライフスタイル促進事業費 3億448万円
電子県庁推進費（AI・RPA推進） 2億2,181万円
県債発行額の一部として5年満期の5億円の発行を予定しているジェンダー平等の推進を求めることが目的！
滋賀県シェンター平等債を発行予定
全国初
公害健康被害補償事業費 332万円
県有庁舎長寿命化推進費 5億2,097万円
ハイブリッドカー更新費（七台） 850万円
新 人材循環地域創造事業費 2,754万円
鉱油揮発油税交付金 5億868万円
市町振興資金貸付金 1億6,000万円
北の近江振興事業費（米原、彦根、長浜市） 1億5,297万円
滋賀県知事選挙執行費 8億5,279万円
CO2ネットゼロ推進費 4,643万円
ベロブスカイト太陽電池モデル事業費 6,000万円
水素エネルギー推進事業費 4,400万円
びわ湖情報ハイウェイ運用費 3億3,073万円
ビジネスチャット運用費 2,406万円

県警察本部

警察官増員計画
令和5年20名、令和6年30名、令和7年50名
令和8年度新たに60名の増員
合計で150名の増員
新 大津北警察署新築整備費 25億8,805万円
土山駐在所新築整備費 7,050万円
トクリュウ対策重点事業費 1億6,229万円
証拠品のバーコード活用事業費 4,161万円

土木・交通

道路関係公共事業費 248億4,635万円 直轄国道事業負担金100億円
都市計画関係公共事業費 8億1,466万円 砂防関係公共事業費44億281万円
国直轄河川整備負担金 1億7,229万円 河川関係公共事業費 127億5,961万円

草津市内の主な土木工事箇所

道路名	工事内容
浜街道（南山田町）	道路拡張・歩道整備
片岡隈東線（隈東町）	歩道・交差点改良
浜街道（下笠町交差点）	道路拡張
浜街道（北大萱町～下笠町）	道路拡張・歩道整備
計画道路平野南笠線	道路設計
近江八幡大津線（下物町・道の駅）	駐車場拡張
浜街道（追分中町）	歩道橋改修
大津能登川長浜線（砂川）	橋梁修繕
草津守山線（矢橋町）	新草津川大橋修繕
近江八幡大津線（新浜町～下笠町）	ビワイチ自転車通行帯

河川名	工事内容
草津川（矢橋町～横田町）	浚渫
北川（矢倉・野路）	天井川切下げ
旧草津川（区間1）（北山田町・下笠町）	河道内公園整備
湯ノ口川（矢橋町）	人工水流実証試験
水草除去（下笠沖・滋沖）	刈とそぎ・救護刈取り
公園名	工事内容
草津川跡地公園	遊具更新
南草津駅	バス利用改善

地籍調査費補助金（市町に3/4補助） 2億9,790万円
地方バス対策事業費 2億6,978万円
新 乗合バス高度化投資支援事業費 1億3,200万円
新 鉄道再構築事業費 3億1,002万円
新 自転車チャレンジ事業費（砂防関係区） 6,711万円
バス・タクシー運転士確保支援事業費 2,980万円
THEシガパーク事業費 5,073万円
CO2ネット・ゼロ住宅ZEH新築支援事業費 9,400万円
港湾整備事業費（長浜港沖埋立護岸 1億2,410万円、大津港再開発緑地事業費 2,015万円、彦根漁港南小型工事 1億1,199万円）
交通安全推進費 2億7,343万円
道路除雪費 8億6,394万円
新たな移動手段実証事業費（ライドシェアなど） 1,100万円

環境・農林水産

国立環境研究所琵琶湖分室連携研究活用費 4,164万円
新 琵琶湖試験研究推進費 4,972万円
琵琶湖博物館管理運営費（県負担相当額） 7億2,354万円
琵琶湖博物館展示・調査事業費 2億9,975万円
早崎内湖再生事業費 1億9,896万円
新 琵琶湖管理基金積立（びわ湖ボート購入金） 15億円
ヨシ群落保全事業費 3,739万円
水草刈取り事業費 2億382万円
琵琶湖レジャー対策費（外来魚対策） 2,589万円
産業廃棄物適正処理推進費 1億7,229万円
新 県市町の上下水道推進事業費 2,586万円
森林づくり事業費（活動、種子生産） 15億914万円
びわ湖材利用助成費（びわ湖木材利用拡大） 1億150万円
森林・林業人材育成事業費 5,419万円
森林環境保全整備事業費 4,160万円
森林組合振興対策費 1億4,624万円
遊林公社償還金 27億5,985万円
しがの自然公園魅力向上費（琵琶湖関連） 1,900万円
鳥獣害対策費（ニホンジカ、ニホンザル、カワウ、イノシシなど） 3億1,062万円
土地改良公共事業費 70億5,680万円
農村まるごと保全活用交付金 10億2,527万円
世界農業遺産プロジェクト推進費 2,132万円
新 地震地滑・流通促進事業費 3,462万円
農地集積・集約推進事業費 9,092万円
しが農業担い手育成事業費 3億5,829万円
産地競争力強化対策事業費 3億8,449万円
環境こだわり農業推進費（オーガニック滋賀ブランド） 4億8,489万円
肉用牛振興対策費 4億2,273万円
近江牛素牛導入緊急支援費 2億7,827万円
有害外来魚ゼロ作戦事業費 2,246万円
アユ水産資源維持保全事業費 4,503万円
新 湖魚供給・消費システム化事業費 2,768万円
水産試験場庁舎整備費 1億9,473万円
新 堀井養鱒場150周年記念事業費 539万円
近江の食品推進！
新 びわ湖魚グルメ地域産業振興費 1,140万円
オリーブで高島活性化事業費 550万円
ぜらみず米ブランド化事業 530万円
新 環米新品種振興事業費 160万円
新 いただき！「みおしるく」流通事業費 1,200万円
新 近江の茶文化事業費 1,351万円
ビワマス養殖振興事業費 596万円

教育・子ども

県立高校建設改修費（高島、長浜北、彦根翔陽、彦根東、彦根工業、八日市、東大津、堅田、大津清陵、大津商業、草津東、草津、守山、守山北、石部、甲南、信楽、水口、水口東） 34億5,168万円
特別支援学校施設改修費（湖北、湖南、甲賀、東近江、八日市、彦根、長浜、大津、堅田） 21億7,197万円

教員業務支援員（スクール・サポートスタッフ） 1億7,146万円
新 県立学校電話機等音響拡・盗聴カメラ設置事業費 710万円
高校魅力化推進プロジェクト事業費 2,838万円
DXハイスクール推進事業費（彦根東、守山、甲西、信楽、高島、高島新旭） 8,400万円
スクールカウンセラー活用事業費 2億323万円
スクールソーシャルワーカー活用事業費 6,902万円
1人1台端末整備費 8億4,302万円
学習船うみのこ航海費 4億9,414万円
インクルーシブ教育支援事業費 2,410万円
医療的ケア児童の保護者支援費 2,394万円
学校給食費負担費（小学校 月5,200円、特別小6,200円） 41億7,091万円
県立図書館資料整備費 5,682万円
滋賀で家族になろう推進事業費 2,492万円
滋賀で誕生ありがとう事業費 1,497万円
新 坂口志文しが未来サイエンス賞事業費 1,000万円
子ども食堂物価高騰対策費 1,968万円
子どもの育ち学び支援費（フリースクール補助金 8億） 8,585万円
子ども若者ヤングケアラー強化事業費 2,469万円
母子保健対策費 1億6,429万円
子ども医療対策費（高校生までの医療費無償） 18億1,819万円
新 不登校児童支援強化事業費 6,084万円

健康・福祉

第二大津合同庁舎整備事業費（医療福祉センター機能） 42億9,737万円
滋賀県平和祈念館事業費 4,342万円
県立病院事業繰出金 56億6,257万円
感染症対策費（発生動向調査、感染症発生動向調査） 3億6,121万円
医学生修学金貸与事業費 1億9,080万円
看護職員確保対策事業費 1億6,533万円
地域医療介護の看護職員確保事業費 1億2,663万円
地域医療介護の看護職員確保事業費 3億8,870万円
新 医療提供体制整備事業費 3億2,000万円
衛生科学センター整備費 8億224万円
DMAT（災害派遣医療チーム）活動事業費 9,948万円
健康しが推進費 1億3,109万円
生活習慣病対策費 1億5,487万円
歯科保健対策費 32億7,472万円
レイカディア大学運営推進費 1億1,260万円
障害者福祉対策費 16億3,728万円
良猿対策推進費 4,776万円
動物保護管理推進費 9,372万円

観光・産業

観光振興推進費（ロケ誘致1,250万円、観光振興促進1億5,837万円、インバウンド誘客6,934万円、大河ドラマ誘致関連2,859万円） 7億9,644万円
新 滋賀デスティネーションキャンペーン推進事業費（ポストプレとの共同開催改修） 2億1,145万円
ビワイチ観光推進事業費 5,119万円
新 地場産業・伝統工芸品魅力化支援事業費 1,200万円
ここ滋賀推進事業費 2億2,078万円
新 海外市場開拓支援事業費 1,400万円
新 グローバルサウスプロジェクト支援事業費 1,850万円
企業立地推進事業費 2億2,401万円
産業用地開発事業費（彦根・大津・東近江市の基本支出） 4億7,300万円
新 ものづくり産業AI活用事業費 1,292万円
新 大学先端研究成果支援事業費 1,300万円
工業技術センター研究費 1億4,373万円
東北部技術センター整備費 4億1,667万円
小規模経営支援補助金（加工食・加工木製品） 14億5,422万円
中小企業団体中央会補助金 1億224万円
中小企業金融対策費 266億4,529万円
陶芸の森事業費 2億5,758万円
マザーズジョブステーション事業費（北部拠点） 5,201万円
男女共同参画センター費（センター等施設） 1,706万円

大丈夫か!?
滋賀の借金残高
令和18年度末残高 1兆6,965,739万円
借金返済額（元金） 2936億円
（一般会計） 657億円

モーターボート競走事業
収益金 817億4,960万円
令和8年度一般会計繰入金 50億円
繰入金の2倍に！

発行 【滋賀県議会議員 白井ゆきのり事務所】 〒525-0034 草津市草津3丁目13-7 TEL.077-568-5017 FAX.077-568-5033 Mail: gogoyukinori@gmail.com

（別紙）

支出内訳書

経　費	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請陳情等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務所費・事務費・人件費

整理番号	支出年月日	支出金額	摘要
k-601	R7.4.28	55,165円	事務所借上費　令和7年4月
k-511	R7.5.27	55,165円	事務所借上費　令和7年5月
k-522	R7.6.27	55,165円	事務所借上費　令和7年6月
k-531	R7.7.28	55,165円	事務所借上費　令和7年7月
k-543	R7.8.27	55,165円	事務所借上費　令和7年8月
k-555	R7.9.29	55,165円	事務所借上費　令和7年9月
k-566	R7.10.27	55,165円	事務所借上費　令和7年10月
k-575	R7.11.27	55,165円	事務所借上費　令和7年11月
k-588	R7.12.29	55,165円	事務所借上費　令和7年12月
k-596	R8.1.27	55,165円	事務所借上費　令和8年1月
k-609	R8.2.27	55,165円	事務所借上費　令和8年2月
k-620	R8.3.27	55,165円	事務所借上費　令和8年3月
計		661,980円	

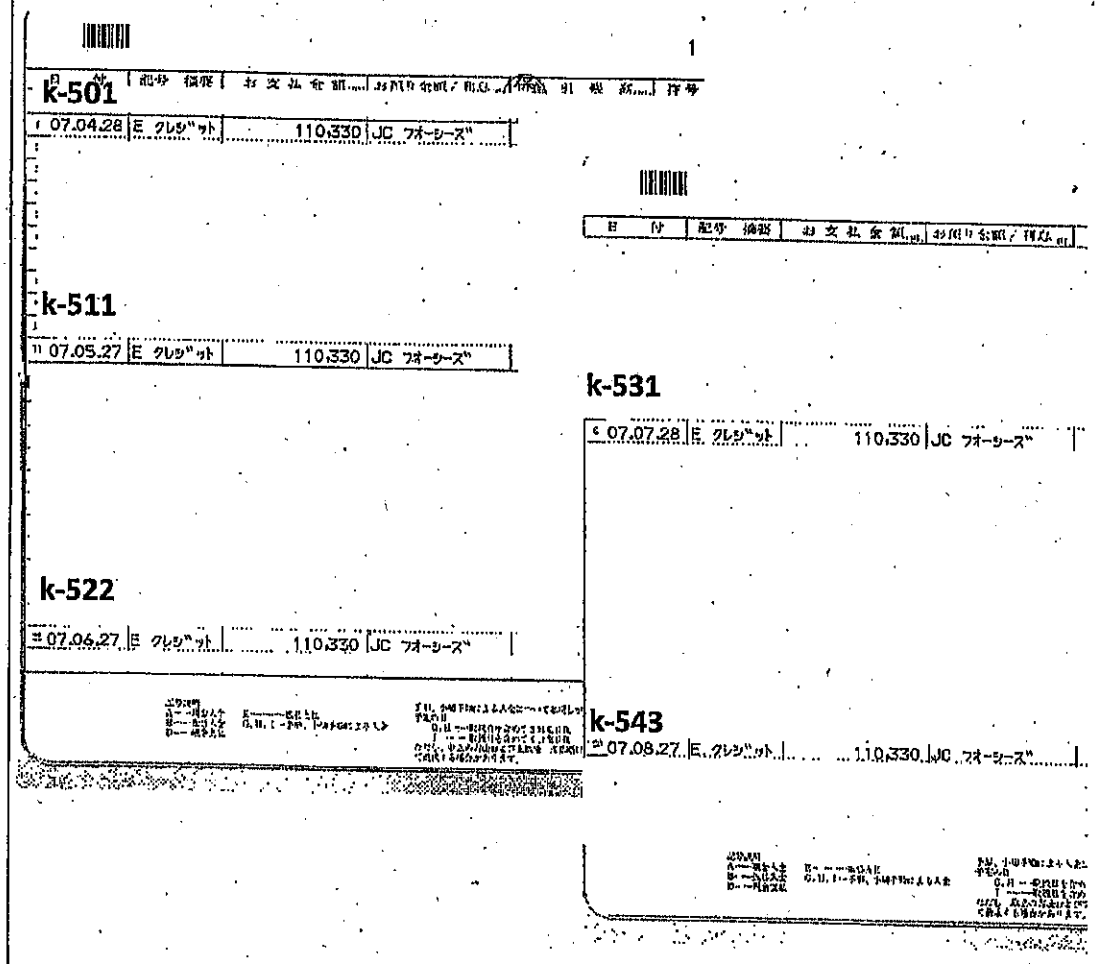
(注) 1　支出内訳書は、経費の種類ごとに作成してください。
2　経費ごとの合計額と収支報告書の当該使途項目の支出額と一致するようにして下さい。
3　整理番号の欄は、領収書等の添付様式(参考様式1)の整理番号と同じ番号として下さい。
4　証拠書類が「支払証明書」(参考様式2)の支出にあたっては、整理番号欄は「ー」としてください。
5　支出金額欄で、按分等により領収書等の額面の金額と政務活動費充当額が異なる場合は、政務活動費充当額を記入してください。

（参考様式１）

領収書等の添付様式

使途項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請陳情等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務所費・事務費・人件費
整理番号	k-501、k-511、k-522、k-531、k-543、

領収書その他の証拠書類の添付欄



事業名、使途および内容等

事務所借上料（令和7年4月～令和7年8月分）
支払い額　110,330円×5×1/2＝275,825

按分による支出の場合の記載事項	按分の率　1/2
政務活動費として支出する額	275,825 円

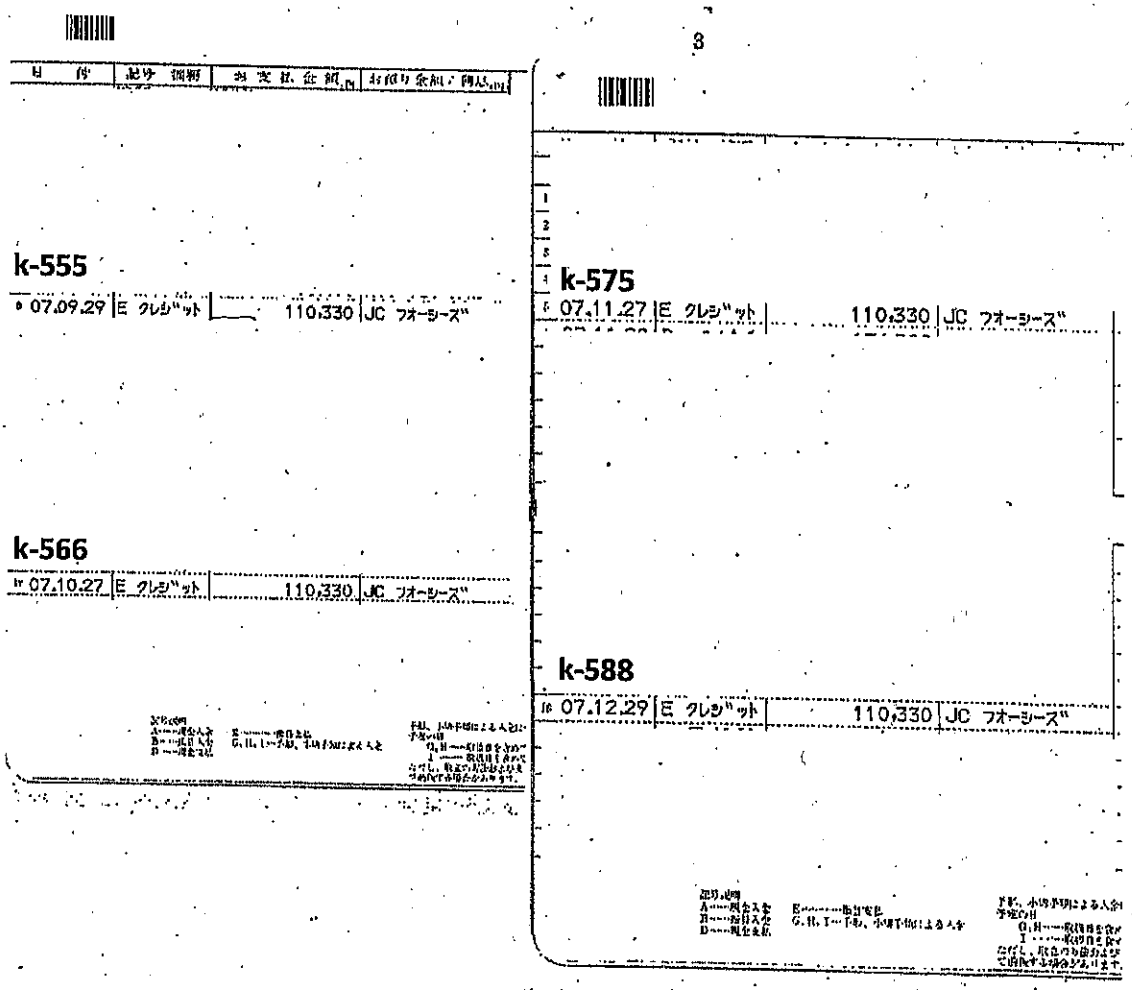
（注）1　領収書等は、この様式に添付してください。
2　政務活動に伴う経費とそれ以外の活動に伴う経費との按分が必要な場合は、「按分による支出の場合の記載事項」の欄に、按分の率を記載してください。
3　添付した領収書等の金額のうち、政務活動費として支出する額を記載してください。

（参考様式１）

領収書等の添付様式

使途項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請陳情等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務所費・事務費・人件費
整理番号	k-555、k-566、k-575、k-588

領収書その他の証拠書類の添付欄



k-555

日付	記号 摘要	お支払金額(円)	お預り金額・領収(円)
07.09.29	E クレジット	110,330	JC フォーシーズ

k-566

日付	記号 摘要	お支払金額(円)	お預り金額・領収(円)
07.10.27	E クレジット	110,330	JC フォーシーズ

k-575

日付	記号 摘要	お支払金額(円)	お預り金額・領収(円)
07.11.27	E クレジット	110,330	JC フォーシーズ

k-588

日付	記号 摘要	お支払金額(円)	お預り金額・領収(円)
07.12.29	E クレジット	110,330	JC フォーシーズ

事業名、使途および内容等
事務所借上料（令和7年9月～令和7年12月分） 支払い額　110,330円×4×1/2＝220,660円

按分による支出の場合の記載事項	按分の率	1/2
政務活動費として支出する額	220,660 円	

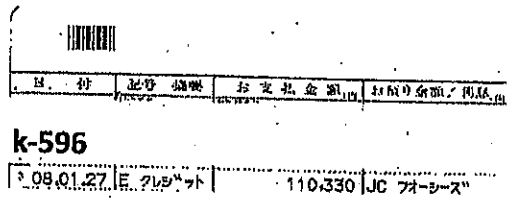
（注）1　領収書等は、この様式に添付してください。
2　政務活動に伴う経費とそれ以外の活動に伴う経費との按分が必要な場合は、「按分による支出の場合の記載事項」の欄に、按分の率を記載してください。
3　添付した領収書等の金額のうち、政務活動費として支出する額を記載してください。

（参考様式１）

領収書等の添付様式

使途項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請陳情等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・(事務所費)・事務費・人件費
整理番号	k-596、k-609、k-620

領収書その他の証拠書類の添付欄



k-596

08.01.27	E クレジット	110,330	JC フォーシーズ

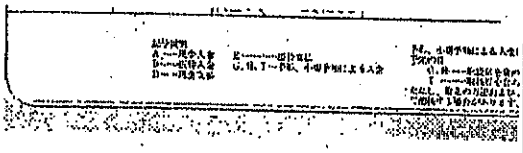


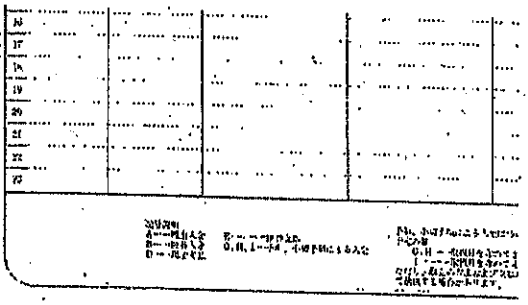
k-620

08.03.27	E クレジット	110,330	JC フォーシーズ

k-609

08.02.27	E クレジット	110,330	JC フォーシーズ





事業名、使途および内容等

事務所借上料（令和8年1月～令和8年3月分）
支払い額　110,330円×3×1/2＝165,495円

按分による支出の場合の記載事項	按分の率　1/2
政務活動費として支出する額	165,495　円

（注）1　領収書等は、この様式に添付してください。
2　政務活動に伴う経費とそれ以外の活動に伴う経費との按分が必要な場合は、「按分による支出の場合の記載事項」の欄に、按分の率を記載してください。
3　添付した領収書等の金額のうち、政務活動費として支出する額を記載してください。

（別紙）

支出内訳書

経　　費	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請陳情等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務所費・事務費・人件費

整理番号	支出年月日	支出金額	摘要
k-504	R7.5.1	107,250円	人件費令和７年4月
k-518	R7.6.11、R7.6.12	100,425円	人件費令和７年5月
k-526	R7.7.4、R7.7.7	83,200円	人件費令和７年6月
k-534	R7.8.4	79,300円	人件費令和７年7月
k-547	R7.9.3、R7.9.4	63,700円	人件費令和７年8月
k-552	R7.9.24、R7.9.29	78,650円	人件費令和７年9月
k-567	R7.10.29、R7.10.30	73,125円	人件費令和７年10月
k-576	R7.11.28、R7.12.1	68,250円	人件費令和７年11月
k-585	R7.12.24、R7.12.25	97,500円	人件費令和７年12月
k-598	R8.1.28、R8.1.29	75,400円	人件費令和８年1月
k-612	R8.3.2	92,625円	人件費令和８年2月
k-623	R8.3.30	95,875円	人件費令和８年3月
計		1,015,300円	

（注）1　支出内訳書は、経費の種類ごとに作成してください。
2　経費ごとの合計額と収支報告書の当該使途項目の支出額と一致するようにして下さい。
3　整理番号の欄は、領収書等の添付様式(参考様式１)の整理番号と同じ番号として下さい。
4　証拠書類が「支払証明書」(参考様式２)の支出にあたっては、整理番号欄は「－」としてください。
5　支出金額欄で、按分等により領収書等の額面の金額と政務活動費充当額が異なる場合は、政務活動費充当額を記入してください。

（参考様式１）

領収書等の添付様式

使途項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請陳情等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務所費・事務費・人件費
整理番号	k-504, k-518, k-526, k-534, k-547, k-552, k-567, k-576, k-585, k-598, k-612, k-623

領収書その他の証拠書類の添付欄

k-504

領収書
自非ゆきのり後援会 様
¥117,650-
但 4月分給与として
入金日 2025年 5月 1日
[redacted]

領収書
自非ゆきのり後援会 様
¥96,850-
但 4月分 給与として
入金日 2025年 5月 1日
[redacted]

k-518

領収書
自非ゆきのり後援会 様
¥116,700-
但 5月分給与として
入金日 2025年 6月 11日
[redacted]

領収書
自非ゆきのり後援会 様
¥85,150-
但 5月分 給与として
入金日 2025年 6月12日
[redacted]

k-526

領収書
自非ゆきのり後援会 様
¥48,750-
但 6月分給与
入金日 2025年 7月 4日
[redacted]

領収書
自非ゆきのり後援会 様
¥117,650-
但 6月分給与
入金日 2025年 7月 7日
[redacted]

k-534

領収書
自非ゆきのり後援会 様
¥ 74,750.
但 7月分給与
入金日 2025年 8月 4日
[redacted]

領収書
自非ゆきのり後援会 様
¥83,850-
但 7月分給与
入金日 2025年 8月 4日
[redacted]

事業名、使途および内容等
人件費（令和7年4月～令和8年3月分）

按分による支出の場合の記載事項	按分の率 1/2
政務活動費として支出する額	1,015,300 円

（注）1 領収書等は、この様式に添付してください。
2 政務活動に伴う経費とそれ以外の活動に伴う経費との按分が必要な場合は、「按分による支出の場合の記載事項」の欄に、按分の率を記載してください。
3 添付した領収書等の金額のうち、政務活動費として支出する額を記載してください。

k-547

領収書

白井ゆきのり後援会 様

¥49,400－

但 8月分給与

入金日 2025年 9月 3日 [redacted]

領収書

白井ゆきのり後援会 様

¥78,000－

但 8月分給与

入金日 2025年 9月 4日 [redacted]

k-552

領収書

白井ゆきのり後援会 様

¥96,200－

但 9月分給与として

入金日 2025年 9月 25日 [redacted]

領収書

白井ゆきのり後援会 様

¥61,100－

但 9月分給与として

入金日 2025年 9月 29日 [redacted]

k-567

領収書

白井ゆきのり後援会 様

¥65,000－

但 10月分給与

入金日 2025年 10月 29日 [redacted]

領収書

白井ゆきのり後援会 様

¥81,250－

但 10月分給与

入金日 2025年 10月 30日 [redacted]

k-576

領収書

白井ゆきのり後援会 様

¥33,150－

但 11月分給与

入金日 2025年 11月 28日 [redacted]

領収書

白井ゆきのり後援会 様

¥103,350－

但 11月分給与

入金日 2025年 12月 1日 [redacted]

k-585

領収書

白井ゆきのり後援会 様

¥87,750－

但 12月分給与

入金日 2025年 12月 24日 [redacted]

領収書

白井ゆきのり後援会 様

¥107,250－

但 12月分給与

入金日 2025年 12月 25日 [redacted]

k-598

領収書

白井ゆきのり後援会 様

¥95,550－

但 1月分給与

入金日 2026年 1月 28日 [redacted]

領収書

白井ゆきのり後援会 様

¥55,250－

但 1月分給与として

入金日 2026年 1月 29日 [redacted]

k-612

領収書

白井ゆきのり後援会　様

¥92,300－

但　2月分給与

入金日 2026年 3月 2日 [redacted]

領収書

白井ゆきのり後援会　様

¥92,950－

但　2月分給与

入金日 2026年 3月 2日 [redacted]

k-623

領収書

白井ゆきのり後援会　様

¥92,950

但　3月分給与

入金日 2026年 3月 30日 [redacted]

領収書

白井ゆきのり後援会　様

¥98,800－

但　3月分給与

入金日 2026年 3月 30日 [redacted]